



富士大学

校友会だより 2022年度



根田会長のOBを訪ねて



左から根田会長 司東さん



新型コロナウイルス感染拡大前の2019年は、盛岡、北上、東京、仙台で「同窓生交流会」を開催しましたが、ここ2年は、開催を自粛しました。少しずつでも同窓生の皆さんと交流したいと思い、新型コロナウイルス感染拡大が下火になった7月12日、同窓生（富士大学校友会会員）を訪ねてみました。

今回は、1988（昭和63年）3月卒業（20回生）の司東道雄さんを訪ねました。

司東道雄さんは、現在、実家のお寺（極楽寺安楽寺：岩手県北上市）の住職をされ、北上市議会議員（2期目）を務めるほか、地域をはじめ日本のスポーツ振興にも貢献しています。また、スポーツ産業学会に所属し、早稲田大学の講師も務めているなど多才な活躍をされています。

富士大学は、スポーツに力を入れている学生が多くいます。司東さんのお力を借り、有名なアスリートの講演会などが出来るのではないかと実感しました。

今後も司東さんには、富士大学校友会の発展にご協力いただきたいと思います。

”根田会長のOBを訪ねて”

会社を経営されているOBの方、自社をアピールしたい方なども歓迎します。

訪問
依頼者
募集

同窓生のみなさんへ

昭和54年卒（12回生） 宮城県支部長 下山 和則

私は現在社員11名の小さな会社の社長をしております。46歳の時会社を興し、今年で22年になりました。業種は、福祉用具のレンタル・販売の会社です。

起業より今までに色々となりましたが、今振り返りますと大学での勉強？、師の教え、学（悪）友の影響、アルバイト体験、そして本との出会い等々、様々な経験をした大学時代が今の私の礎になっているなとつくづく感じます。そんな環境を提供していただいた母校 富士大学には感謝しております。

さて、富士大学校友会宮城支部ですが、大学の県別卒業生で二番目に多い1,400名の校友会会員がおります。令和元年に開催しました第一回宮城支部交流会では、30名の参加があり、学生時代にタイムスリップして大いに盛り上がりました。その会で在学時には交流がなかった後輩が、当社で契約している警備会社セコム の当社地域管轄支社の支店長をしているなど、母校の縁にまた感謝した次第です。

コロナ禍が沈静化したなら、皆様を再開する校友会活動でお待ちしております。



